

## I・TOP横浜「観光・インバウンドプロジェクト」 訪日外国人向けガイドマッチング実証実験を開始します！

横浜市、(株)電通国際情報サービス（以下 ISiD）及び(株)Huber.の3者は、横浜市立大学をはじめとする市内大学の学生の協力のもと、海外から横浜に出張で訪れた外国人を対象としたガイドマッチングサービスの共同実証実験を行います。

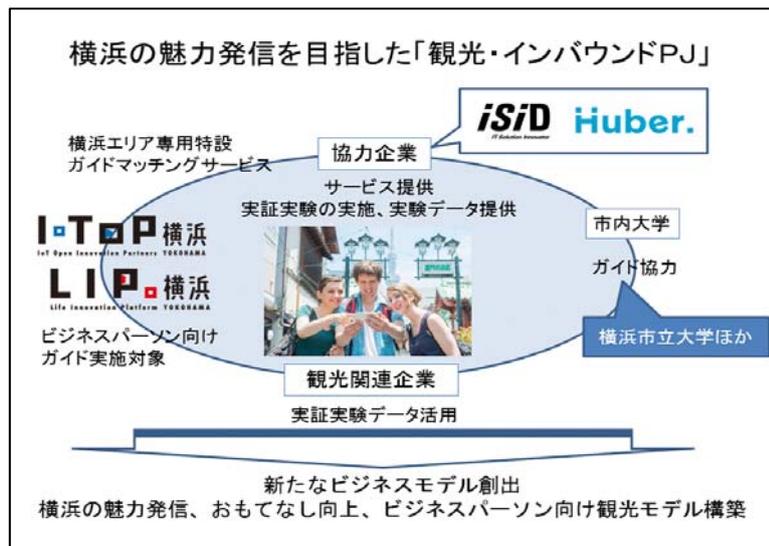
本実証実験は、「I・TOP横浜」（裏面参照）の取り組みの一環として、訪日外国人向けの横浜の魅力発信、おもてなし向上や新たなビジネス創出などを目指して横浜市が立ち上げた「観光・インバウンドプロジェクト」の活動として実施します。

横浜市はラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地となっており、これらのイベントに関連して来日する外国人向けのサービス充実にもつなげていきます。

### ～実証実験のねらい～

世界最大級のコンベンション・センターであるパシフィコ横浜を擁する横浜みなとみらいエリアは、近年、国内有数の MICE\*拠点としても知られています。しかしながら、ビジネス目的で訪れた外国人が、ビジネス以外の行動（宿泊、飲食、観光等）では東京など他都市に流出する傾向にあり、今後大規模な国際イベント開催を控える中、地域経済のさらなる活性化に向けて、ビジネスパーソンを対象とした横浜ならではのサービス拡充と情報発信の強化が課題となっています。

本実証実験は、ビジネス目的の訪日外国人を対象に、横浜の魅力を発信し、ビジネス以外でのエリア内回遊や再来訪を促す仕組みづくりの第一歩として実施するものです。



※ MICE：「Meeting」「Incentive」「Conference/Convention」「Exhibition/Event」の4つの頭文字を合わせた言葉で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

### お問合せ先

横浜市経済局産業立地調整課 担当課長 立石 建 Tel 045-671-3913  
 株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李 Tel 03-6713-6100  
 株式会社 Huber. 広報担当 渡邊 Tel 0467-81-4300

【裏面あり】

## ～実証実験の仕組みと概要～

日本を知りたい訪日外国人（ゲスト）と、国際交流したい学生や社会人（ガイド）の両者をつなぐプラットフォームサービス「Huber.」を活用して、横浜エリア専用の特設サイトを構築し、ビジネス目的の訪日外国人が自分のイメージにあった旅のガイドを地元学生から受けられる機会を提供します。ガイドを利用した結果、エリア内回遊状況や対象者の意識がどのように変化したかを検証します。本実証実験において、ISIDはプロジェクト全体運営及び提供サービス・コンテンツ企画を担当し、Huber.はプラットフォーム提供と特設サイト構築を担当します。

- 対象者 : 海外から横浜に出張で訪れる外国人  
(I・TOP横浜参画企業、LIP横浜参加会員関係者から募集)  
※サービスサイト、ガイドともに英語のみでの対応となります。
- 実証実験期間 : 平成30年2月26日～4月下旬
- ガイド協力 : 横浜市立大学をはじめとする市内大学の学生がガイドとして協力



Huber.サービスサイト : <https://huber-japan.com>

※本実証実験の特設サイトにつきましては、上記 URL からは閲覧できません。

Huber.お問い合わせ窓口 : support@m.huber.co.jp



とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



とは

横浜から、健康・医療分野（※）のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。LIP横浜では、企業・大学・研究機関で構成するネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、中小・ベンチャー企業等に対する製品化に向けた支援を行い、新技術・新製品の開発を促進していきます。

（※）健康・医療分野・創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

## KEIO CHALLENGER 国際プロテニス大会において 横浜市と慶應義塾大学の連携による 「スマートテニス体験会」実施！

慶應義塾が主催する国際プロテニス大会「Keio Challenger International Tennis Tournament 2018（以下、「慶應チャレンジャー」）」において、スピードガンやGPS・高精度測位システムなどを用いてテニス及び車いすテニスに関するスポーツデータの取得・分析・可視化を体感する「スマートテニス体験会」を実施します。これは、I・TOP 横浜の取組の一環として、また、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、慶應SDM）と港北区の連携協定に基づく取組の一環として実施するものです。

本実証を通して、データ活用の推進を図るとともに、車いすテニス体験を通して障害者スポーツの推進を図ります。

### 1. 概要

#### (1) 日時

平成30年3月4日（日）

13:30～17:00（男子決勝戦同日）※雨天中止

#### (2) 場所

慶應義塾大学日吉キャンパス

蝮谷テニスコート

（横浜市港北区日吉4-1-1）

#### (3) 内容

- ・慶應チャレンジャーにおける「車いすテニスエキシビジョン」観戦
- ・車いすテニス体験
- ・スポーツデータの取得・分析・可視化体験（スピードガンやGPS・高精度測位システムなどを用いたデータ計測、取得データを用いたトップ選手との比較など）

※慶應SDM、慶應義塾体育研究所、体育会庭球部との連携により実施します



画像提供：慶應義塾大学

### 2. その他

当日、取材にお越しいただける場合は、事前に御連絡をお願いいたします。

【連絡先】港北区区政推進課 大屋、亀田 Tel 045-540-2230

#### お問合せ先

(I・TOP 横浜について) 経済局産業立地調整課担当課長 立石 建 Tel 045-671-3913

(スマートテニス体験会について) 港北区区政推進課長 山本 憲司 Tel 045-540-2220

【裏面あり】

【参考】

### ○慶應チャレンジャーの概要

2007年より慶應義塾が主催してきたプロテニスの国際大会です。男女の大会が並行して行われ、男子大会は、男子プロテニス協会（Association of Tennis Professionals、以下 ATP）公認のチャレンジャーツアーであり、日本で開催される ATP チャレンジャーツアー3大会のうちの1つです。世界ランキングの上昇を目指し、世界各地よりプロ選手が集結します。

今年は去年に引き続き、国際テニス連盟（International Tennis Federation、以下 ITF）公認の ITF 女子サーキットの女子大会も並行して開催いたします。こちらの大会も世界ランキングの上昇を目指し、将来有望な若手選手を中心に世界各地から選手が集まります。

- (1) 大会名称：Keio Challenger International Tennis Tournament 2018
- (2) 主催：慶應義塾
- (3) 公認：ATP・ITF・公益財団法人日本テニス協会、関東テニス協会、神奈川県テニス協会
- (4) 後援：横浜市、庭球三田会、(一社)日本車いすテニススポーツ協会
- (5) 賞金総額：男子:US\$ 75,000、女子:US\$ 25,000
- (6) 日程： 男子日程 予選 2018年2月24日(土)～2018年2月25日(日)  
本戦 2018年2月26日(月)～2018年3月4日(日)  
女子日程 予選 2018年3月4日(日)～2018年3月5日(月)  
本戦 2018年3月6日(火)～2018年3月11日(日)
- (7) 試合会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 蝮谷テニスコート  
〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1



- (8) 大会事務局：〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾体育会庭球部内  
E-mail：info@keio-challenger.jp  
Tel /Fax：：045-562-2989
- (9) 予定延観客数：5,000 名程度

## 【取材のご案内】



# 横浜市長による自動運転車両の試乗のご案内

日産自動車(株)と(株)ディー・エヌ・エーは、I・TOP 横浜の取組の一環として、共同開発中の無人運転車両を活用した新しい交通サービスの名称を「Easy Ride (イージーライド)」と決定し、一般モニターが参加できる実証実験を平成 30 年 3 月 5 日 (月) より、みなとみらい 21 地区 (別紙参照) で実施しています。

横浜市は、革新技術を活用した取組を推進するため、公共施設管理者や地域との調整など、様々な支援を行っています。

今回、林文子横浜市長が、自動運転車両の試乗を行います。

つきましては、ご取材のほど、よろしくごお願い申し上げます。

### 1 試乗の概要

(1) 日時：平成 30 年 3 月 22 日 (木) 10:15~10:45 [受付開始：9:30~]

(2) 会場：日産自動車グローバル本社 1 階ギャラリー (車寄せ側付近)

(横浜市西区高島1-1-1)

※報道受付は 2 F 特別受付に設置いたします。

※交通アクセス：裏面参照

(3) 出席者

横浜市長 林 文子

(4) 次第 (予定)

ア 試乗 (20分)

イ 自動運転車前にてフォトセッション (5分)

ウ 試乗後の感想・コメント (5分)

※当日は、順番が変わることがあります。



### 2 取材要領

ご取材の際は、別紙の取材申込書に必要事項をご記入いただき、3月20日(火)12時00分までにファックスにて、事務局までお送りください。

(1) 受付場所：日産自動車株式会社 グローバル本社 2 階特別受付

(2) 受付時間：平成 30 年 3 月 22 日 (木) 9:30~10:30

(3) 注意事項：ア ご取材の際には、必ず社名入りの腕章のご着用をお願いします。

イ 電源供給はできませんので各社でご準備ください。

ウ 駐車場の用意がございませんので、公共の交通機関でお越しくさるようお願いいたします。

エ 当日は記者の方は試乗できません。

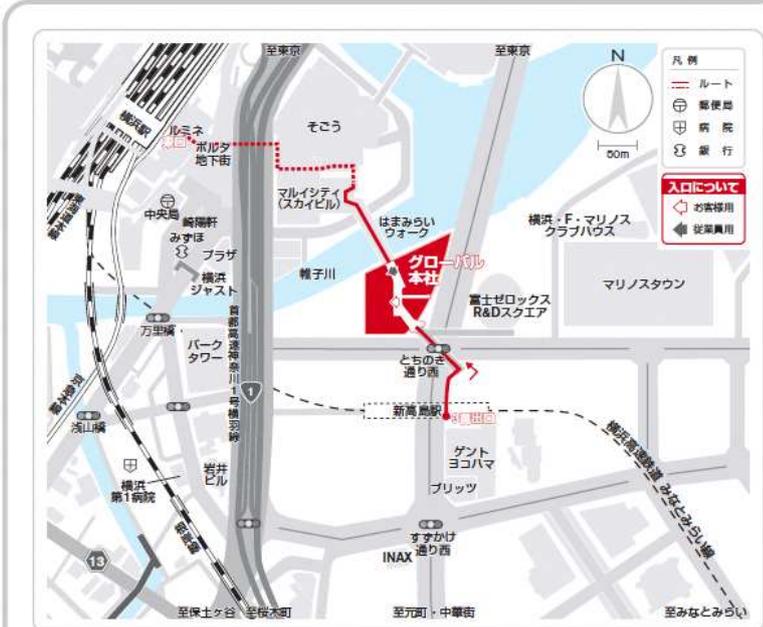
オ 荒天の場合は中止の可能性がります。

(4) 提出先：横浜市経済局産業立地調整課 FAX：045-664-4867

【交通アクセス】

日産自動車株式会社 グローバル本社 電車・徒歩 アクセスMAP

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号 電話 045-523-5523(代表)



※駐車場の用意がございませんので、公共交通機関でお越しくださるようお願いいたします。

アクセス方法	JR	新宿駅	湘南新宿ライン	31分	横浜駅	徒歩 7分	グローバル 本社	徒歩 5分	新高島駅	みなと みらい線 6分	元町・ 中華街駅	みなと みらい線
	JR	東京駅	東横線	24分								
	JR	成田空港駅	成田エクスプレス	90分								
	京急	羽田空港駅	京急空港線	20分								



URL : <https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/PROFILE/MAP/map.pdf>

お問合せ先		
経済局産業立地調整課担当課長	立石 建	Tel 045-671-3913



## TBS初となる自治体との締結！

# 株式会社東京放送ホールディングスと横浜市が 包括連携協定を締結！

株式会社東京放送ホールディングス（以下「TBS-HD」）と横浜市は、相互の連携を強化しドローンやIoT等の最先端技術の活用やタイアッププロモーションの実施など、地域経済活性化等を目指す包括連携協定を締結しました。なお、TBS-HDとして自治体と包括連携協定を締結するのは横浜市が初となります。

### 1 経緯と目的

TBS-HDは、横浜市青葉区に所在する「緑山スタジオ」を活用し、歴史ある”文化創造企業”として、心身ともに健やかな国民生活に寄与しています。また横浜市は、人口373万人、製造業6,000社、IT産業3,000事業所の集積地として、「IoT横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）」を立ち上げ、中小企業のチャレンジ支援、新たなビジネスモデル創出や社会課題の解決を目指しています。

このたび、包括連携協定を締結することで、将来的に全国の自治体に波及する取組として、両者の持つ資産を有効活用し、ドローン・IoT等の最先端技術を活用するとともに、映像を用いた横浜のプロモーションなど、連携を強化していくことに合意しました。

### 2 協定締結に伴う面会の概要

- (1) 日時・場所 平成30年3月27日（火）11:30～11:50（場所：市庁舎2階応接室）
- (2) 出席者（敬称略）  
 株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役社長 武田 信二  
 横浜市長 林 文子

### 3 包括連携協定の主な内容

- (1) ドローンやIoT等の革新技术を活用した、中小企業のチャレンジ支援、新たなビジネスモデル創出や社会課題の解決に関する事。
- (2) 緑山スタジオの利活用に関する事。
- (3) 横浜市内におけるドラマ等番組撮影及び番組とのタイアッププロモーションの実施に関する事。
- (4) その他、イベント等、市民サービス向上に関する事。



ドローン講習会の様子

#### お問合せ先

経済局産業立地調整課担当課長	立石 建	Tel 045-671-3913
東京放送ホールディングス 社長室広報部	花岡、内山	Tel 03-3746-1111

※ 本件は、(株)東京放送ホールディングスと同時発表しています。

【裏面あり】

【TBS- HD社長及び横浜市長によるコメント】

横浜市との連携の中で、ドローンをはじめとする先端技術開発やビジネス創出を目指し、放送局の常識の枠組を越えていきたいと考えております。人口370万人を超える、日本最大の政令指定都市である横浜市には、ヒト、産業、比類なき文化や観光資源など、素晴らしいポテンシャルがあり、それらの力と60年間培った我々のリソースを掛け合わせることにより、今までにない、新しい自治体とメディアとの連携モデルを形作りたいと願っております。また、今回の包括連携協定をきっかけとして、横浜市以外の自治体にも連携を広げ、より深く社会的責任を遂行できる基盤を築いていければと考えております。

TBS- HD 代表取締役社長  
武田信二

このたび、東京放送ホールディングス様より包括連携のご提案をいただき、協定を締結させていただき運びになり、心より感謝しております。

東京放送ホールディングス様にはこれまでも「I・TOP横浜」にご参画いただいております。その取組の中で緑山スタジオにおけるドローン講習会や公共分野での利活用推進に向けた意見交換など、多くの御協力をいただいております。

このたびの協定のもと、互いに持つ資源や強みを生かし合うことで、新たなビジネス創出などによる市内経済活性化や、横浜市のプロモーション等の取組が加速することを期待しています。

横浜市長  
林 文子

【協定締結に関する面会の様子】



写真データお求めの場合は、お問合せ先（045-671-3913）まで